新型コロナウイルス　緊急アンケート　結果報告

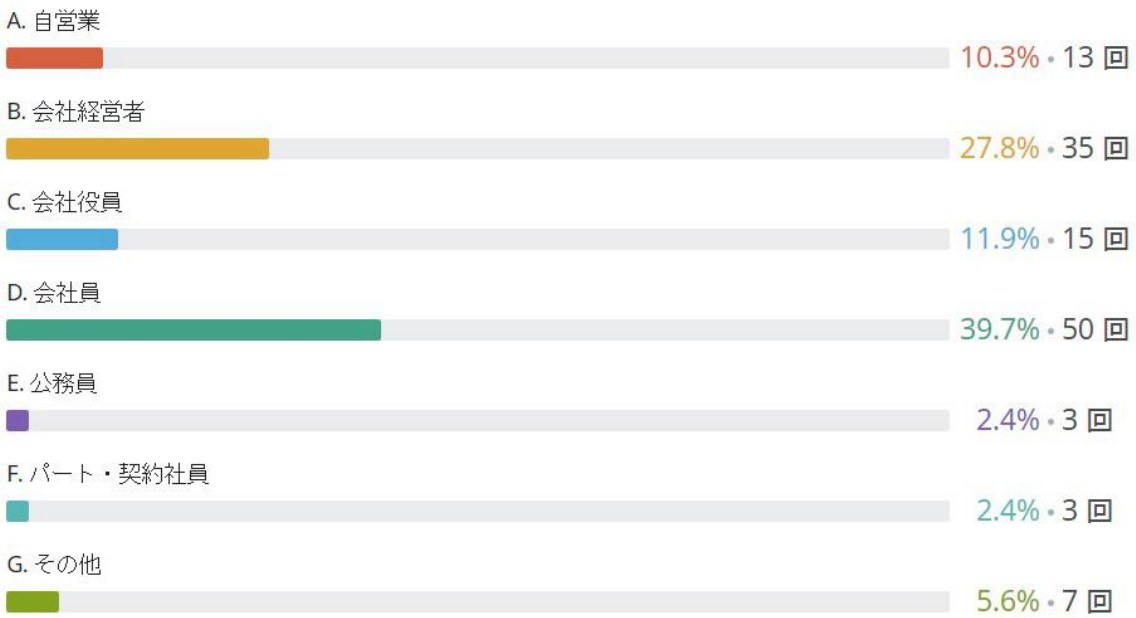
実施期間：　５／１２－５／２９
実施対象：　一般（RMCA メルマガ登録者他、関係者）

NPO 法人日本リスマネジャー＆コンサルタント協会では年明けからの新型コロナウイルスの問題に関して３月の第１弾、４月の第２弾（保険代理店向け）に続き第３弾の「新型コロナウイルス緊急アンケート（個人向け)」を実施いたしました。

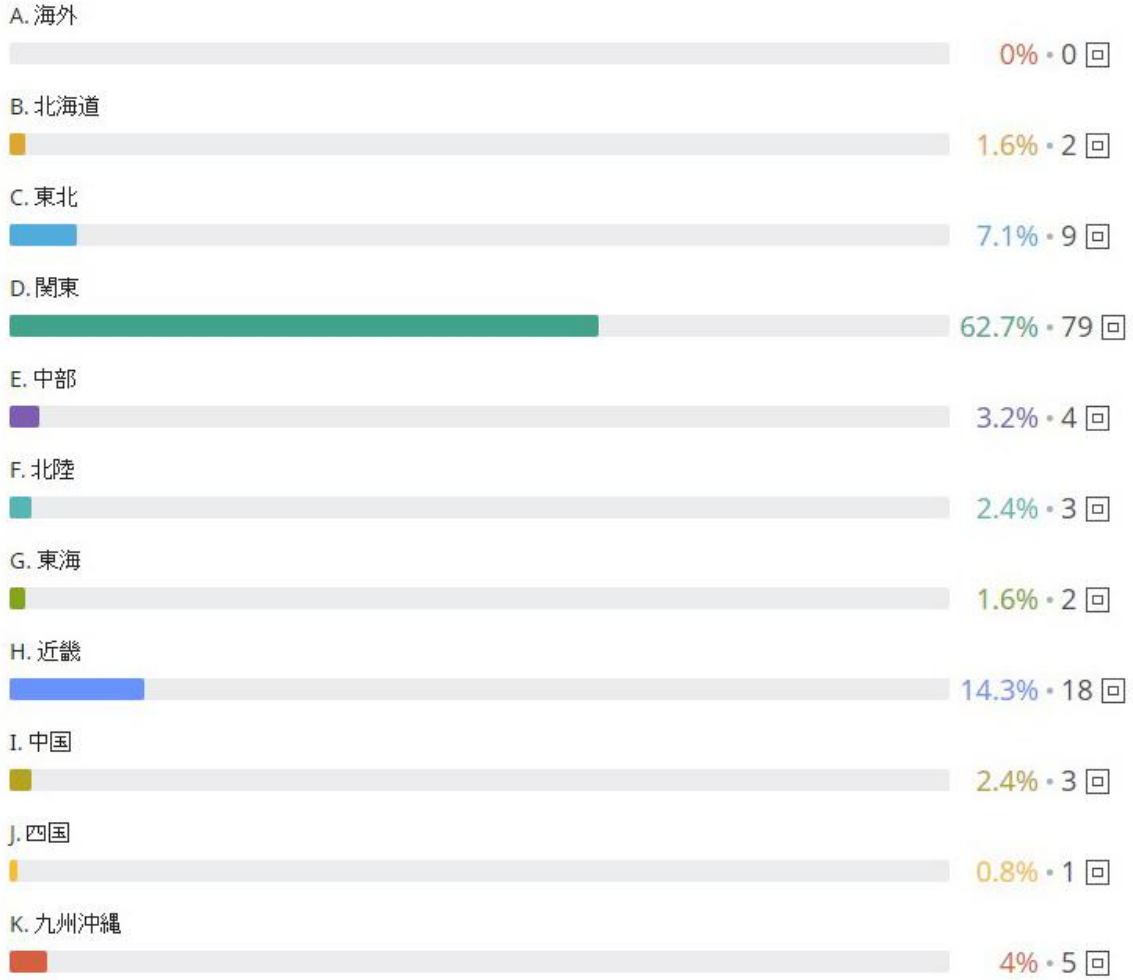
アンケート内容については以下のような内容となっております。
設問は２１問で、今回の新型コロナウイルス発生後の対応に関して簡単なご質問をさせていただきます。
不明点については無回答で問題ありません。ぜひお声をお寄せくださいますと幸いに存じます。
今後のリスクマネジメント活動への参考とさせていただければと思いますので、ぜひご協力のほどよろしくお願いいたします。

質問自体は前回との比較の為ほぼ同じ質問をさえて頂き 126 名からの回答を頂きました。全体として”感染爆発は抑えられたが不安は解消されず”という印象です。
年明けから始まった新型コロナの感染爆発を防ぐための自粛や非常事態宣言などで４，５月は社会が沈滞した 2 ヶ月となります。非常事態宣言解除後にいかに社会を立て直すか、ポストコロナを見据えた活動を模索していかねばならないでしょう。
以下アンケート内容をご報告いたしますので情報共有頂くとともに今後の対策の参考としていただければと思います。

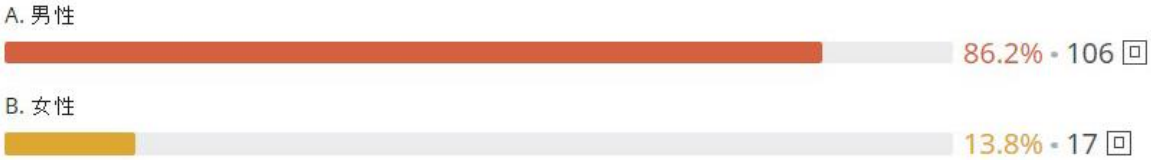
Q1.　職業（単一解答，126回提出）



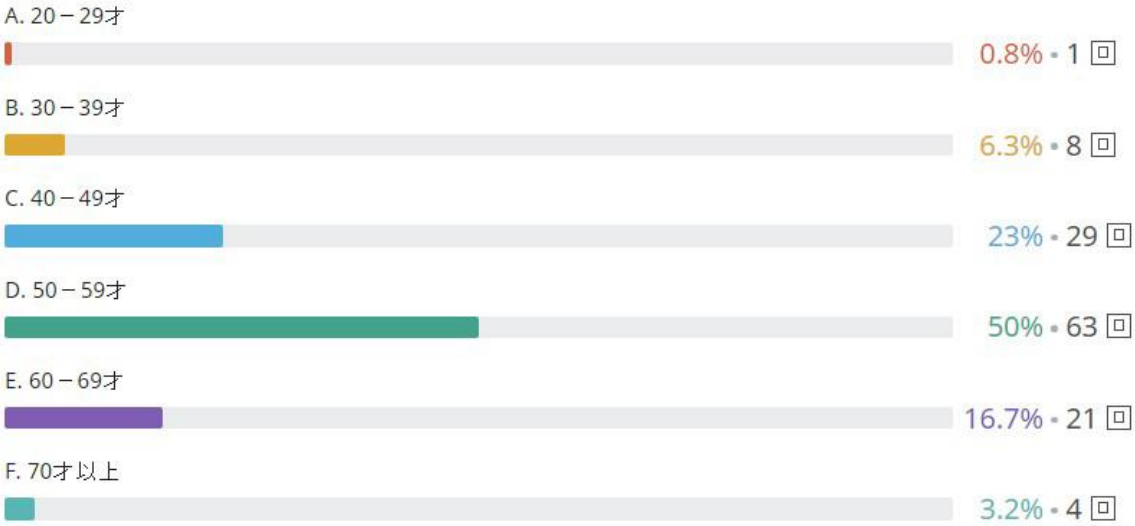
Q2. 居住地（単一解答， 126回提出）



Q3. 男女（単一解答， 123回提出）



Q4. 年齢（単一解答， 126回提出）

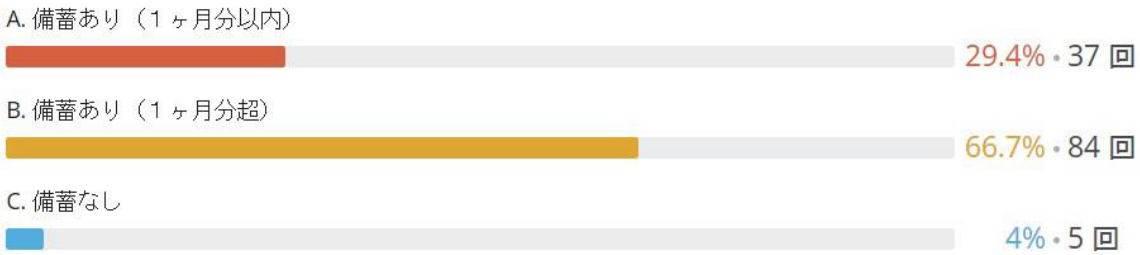


PCR 検査を受けたかどうかを任意で回答頂きましたが、前回は回答者で検査を受けた方は無しであったが今回は 1 名。検査自体の数は増えたとはいえ全体としては絞っている現状は変わらず妥当な結果かと思われる。また検査自体を必要とする感染者が増えなかったとも言える。

Q6. PCR検査を受けた？（単一解答， 126回提出）

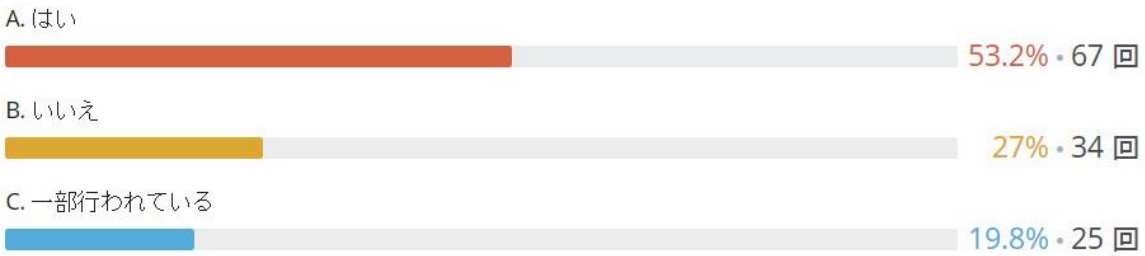
マスクの備蓄について、前回以上の全体の 95%がマスクの備蓄をしているという結果に。前回は一ヶ月超の備蓄者は 32%であったが、今回は 67%と倍増、マスクの備蓄が、この 2 ヶ月で行届いてきたことがうかがえる。

Q7. マスクの備蓄はあるか？（単一解答， 126回提出）

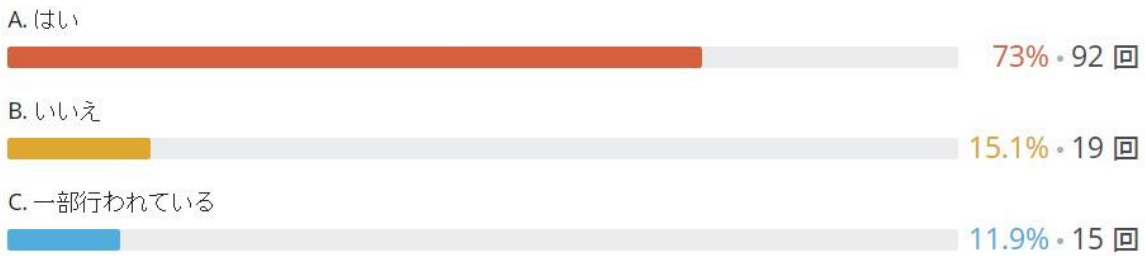


出社制限及び出張制限は、前回調査ではそれぞれ 16.2%、37.6%であったが、自粛期間を経ての今回の調査ではそれぞれ 53.2%、73%となった。政府の非常事態宣言を受け各自・企業が移動制限を導入していることがうかがわれる。双方とも「一部行われている」という回答を含めると 8 割程度という高い数字となった。

Q8. 出社制限はされているか？（単一解答， 126回提出）



Q9. 出張制限は行われているか？（単一解答， 126回提出）



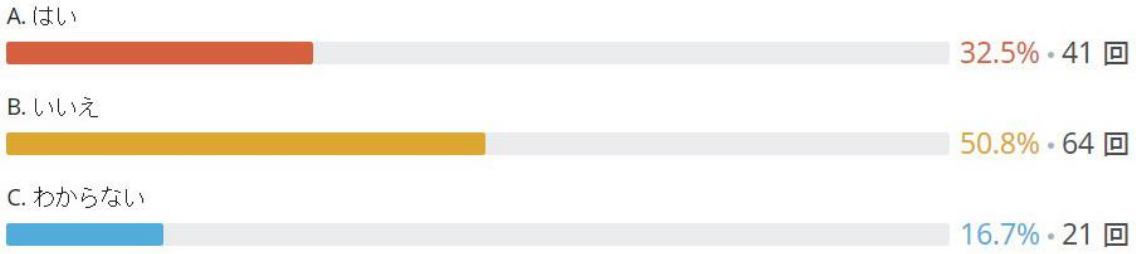
事業（業務・売上）への影響はどの程度か？について。前回調査では 5 段階評価で平均値は 2.48 であったが今回調査では 2.75．平均 3 はかろうじて下回ったが前回調査より悪化しており、予想通りじわじわと個人の活動や経営、事業への影響が出はじめていると考えられる。

テレワーク、WEB 会議に関する質問。両方とも大幅に実施が増えており、「一部行われている」を入れると 8 割に達する。、移動制限とともにテレワークがこの間普及したことをうかがわせるが非常事態が解除されても、このテレワークが定着するのか、それとも元に戻るのか次回アンケートでも確認したい。

解雇・給与遅延等について。3 月時点ではまだこれら雇用についての問題は顕在化していなかったが、今回の調査では 6.3%となり若干その傾向がみられ始めている。1 次補正、2 次補正で政府の緊急経済対策が発動されるがこれによりどこまで雇用が維持されるかを注視していく必要がある。

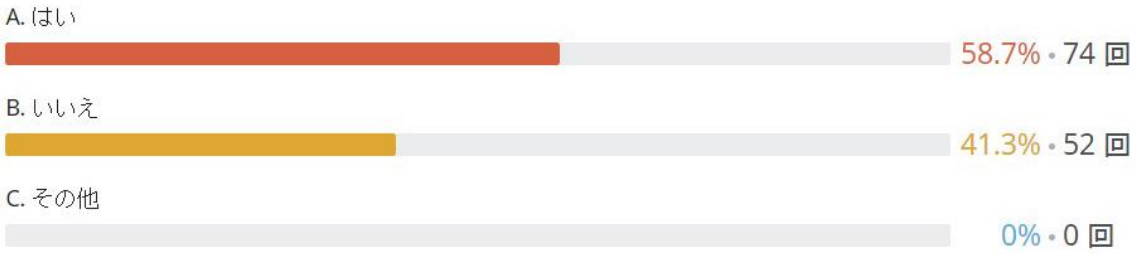
BCP の整備。前回とほぼ同じ割合の回答となった。2 回の調査とも 5 割の方が BCP（パンデミック）の整備がされていないと回答していることになり、この分野でのリスクコンサルタントの活躍が重要であるといえる。

Q15.　（所属する組織では）BCP（特にパンデミック）は整備されていますか？（単一解答，126回提出）



サプライチェーン・取引先への影響について。前回は影響についてはい、いいえで半分に分かれたが今回の調査でははい、が若干上回り 58.7%となった。この問題が長期化すると支払遅延や連鎖倒産などが発生しひいては解雇などによる経済へのダメージが避けられなくなる。それを防ぐためにもきめの細かい政府対応が求められる。

Q18.　・現時点（5月）でサプライチェーンや取引先に問題は出ているか？（単一解答，126回提出）



Q19 以降は自由回答とした。

Q19.　現時点（5 月）で最も困っている点について（自由回答）

1. 高齢の母が実家で一人暮らししている。放っておけないので週 1 回帰省している。今の風潮でいえば、移動は避けるべきだろうが。
1. 流通が滞っている商品がある。
2. 乗合代理店です。ＷＥＢオンラン相談をするにあたり、ビデオツール（ズーム、チームス他）を含め、利用許可をしない会社がある。
3. 売上減少
4. 新規につなげる営業活動ができなくなっており、今後の手数料に影響が出てしまう。
5. ３末、やっと１月から社会復帰して勤めた会社に、コロナを言い訳に上手く自己都合に仕向けられた。リクルート、事業支援、何にも動けず、所持金が、今月どこでショートしてもおかしくない。崖っぷち(笑)
6. 生徒不在での授業の撮影。オンライン授業の不具合。イベント開催日が決まらず振り回される
7. だらだらと緊急事態宣言を延長されるので解除後の計画がたてられない
8. 先の見通しがつきにくいこと。
9. 取引先の倒産、縮小、停止等。
10. 消毒液、マスクの不足
11. 売り上げの落ち込み

12. 仕事の減少、収入減少
13. 電車通勤で、三密にならない事。
14. テレワークの導入により、仕事の生産性が落ちている。
15. 行動制限。資金繰り。政府の対応のまずさ
16. 社内の意思伝達。コミュニケーションが上手くいかず新たな取組が牛歩の如くゆっくりとなっている。
17. 地方自治体として、町内会との会議が停止し、秋のイベントの調整が出来ていない。
18. 社員のストレス
19. 取引先がテレワークを導入していて、担当者との連絡がスムーズに出来ない。
20. 今後の見通しが立たないこと
21. 外食店舗の営業ができない。
22. 出張と会議の開催
23. セミナーが開けない。研修の依頼がこない。
24. 顧客の一部でリモート会議やリモート研修に対応出来ないところがあり予定が中止になってしまっています。
25. 雇用するスタッフが本来勤務できないこと
26. ゴルフをリスクがあるので、プレーできないこと。
27. 県を越えての移動自粛。
28. 自分を売る仕事なので、美容室やネイルサロン 、スポーツジムが利用できないことが困る。
29. 保険会社のカスタマー等が、コロナの影響と言葉で、対応及び仕事が遅くなり過ぎている。要らない人員が浮き彫りになって良いかも知れないが、事故や給付の対応が遅いのはメーカーとして致命的。
30. 県を超えての移動自粛
31. 新規営業が思うように出来ない。
32. 仕事が終わってから飲みに行けない
33. 先が見えないので、いつ仕事の状況が回復するか、予定が立てられないところ
34. 現場・現実・現物の確認ができていない。
35. 保育園が再開されない以上、通常の業務時間で働けない従業員が複数
36. 今後の見通しが不透明
37. 純新規の取り組みが出来ないこと。
38. 区役所に勤務していますが、町内会は２００ほどあり、それらを束ねて、支所や消防とともに会議を開催できる広い施設が無いこと。
39. 通常のようにお客様への訪問ができない状況。
40. 面談の自粛（特に法人顧客）
41. オリンピック延期もしくは中止によりプロジェクト関連がペンディング状態
42. 自粛期限が不透明でどの時点でどのレベルまで戻すのかの計算が立たない。
43. テレワークによる、運動不足、対面コミュニケーション欠落等によるストレス
44. 契約企業の経営状態がどうなるか不透明
45. 押印が必要な書類が残っており、一部、出社せざるを得ない社員がいる。
46. 海外を含め出張出来ない。

47. 新規提案の訪問活動があまり積極的に出来ない。
48. 依頼の減少
49. 在宅勤務で仕事の効率が落ちた。ストレスも抱えてます。
50. リモートワークのインフラが貧弱
51. 自動車業界の製品を造っているので、仕事量が激減している
52. 経営陣のパンデミックへに対しての意識が低い、対応が遅い。会社としての意識統一ができなかった。感染対策（マスク）をしていない社員に対して管理職が注意できなかった。また社長、役員自ら会社が指定した対策を取らなかったので、その部下は「自分はマスクをしなくていいんだ」という風潮が生まれた。
53. リモート化を進めるための環境整備（但し、全面的に進めるつもりはない）
54. 中コロに移されないようにする。
55. 保険契約の解約が発生している
56. 対面する仕事なのでむやみに訪問活動が出来ない。
57. 他府県への移動や、他府県からの来社が難しいので、WEB でなく、どうしても開催が必要な会議が開けない。
58. 小学生の自粛生活で、学校生活の遅れや目に見えないストレス
59. 出張(国内・海外)できない。イベントが実施できない。
60. 取材など外部と接触できない、または極端に限られていること
61. 不慣れな在宅勤務で、担当者間の意思疎通に余分な手間が掛かること

Q20.　今回を契機に個人のリスクマネジメント上、新たに取り組むようになったことや新たな意識づけはありましたか？　（自由回答）

1. 手洗いと手指消毒、うがいは前回の回答時同様に継続している。他者に不快感を与えないように外出時のマスク着用も始めた。
2. 面談時マスク
3. 有事の際の資金確保が必要であること。現金としてはもちろんだが、保険を活用したものも必要であることを感じさせられた。
4. 保険や蓄えしとくことを再認識
5. 学生コンテンツの作成が増えた。医療職のメンタルケアのプロジェクトを立ち上げた。
6. 一般的な感染症対策や衛生用品の備蓄など
7. 災害主体の対策に加えて感染症についても気を払うようになった。
8. 緊急用の資金の備蓄
9. 健康管理
10. 新たな事業のための準備
11. 中国製品の監視等。
12. 一つだけの収入ではなく、サイドビジネスでの収入も必要であること。
13. 県外への移動を一切控えている。
14. デジタル化
15. マスクやうがい、手洗いなど感染など対策は勿論ですが、他人や自分との関係性を壊さないよう、

16. 人には怒らない。クヨクヨしない。望む事を変え、自分にコントロール出来ることだけ見るを意識しています。、
17. コロナ対策のためには、資器材が必要だが、早目に契約しないと、入荷が遅延し、処置（理事会への出席及び防災訓練の実施）が遅れる。組織（自治体）の対応を待っていられない。
18. 前回の新型コロナウイルス時の対策の延長線上で対応できている。
19. リスクファイナンスの対策について見直すきっかけになりました。
20. 不特定多数に会わないという方針のもと、大衆店やスーパー、コンビニ等は時間を考えるようになった。
21. 都内へは１年は行くつもりはない。
22. 検温、手洗い、マスク
23. 野菜作り。遠隔サービスの開発
24. オンライン対応
25. 満員電車への乗車、懇親会等の開催方法の変更
26. いてもらうだけで価値があったが、在宅になると、時間と成果に目が向いてしまう。これから、そこに対する研修が必要になると考えています。
27. あとは、経理の資料を持ち帰らせるかどうか。ここも検討課題です。
28. これまでの自然災害型 BCP とは発想が異なるコロナ型 BCP 策定とマネジメントへの転換、しばらく続くコロナ感染防止策、社会的距離とリモーワークを組み入れた業務体制を全ての関係先と協働して構築実践しています。
29. 遠方の企業に対するコンサルティングビジネスでは zoom を使えば何も問題がないことが良くわかったこと。
30. web 会議が、日常化した。
31. とにかく非対面になれる！です。
32. 体力づくり
33. 新事業による事業の安定性。
34. 訪問がムダである事。
35. 収入の柱をいくつか持つ事の必要性を強く感じています。
36. 三密厳禁、手洗い、店で食事をしなくなった。WEB ミーティング、WEB 授業。
37. 身体的リスクより社会的リスクを意識するようになった。
38. 日常的なテレワークの継続による、業務上の問題点の洗い出し（※一定以上の業務歴を有する社員に関しては週 1～２日のテレワークを推奨し、出社せずスムーズな業務展開を行う上での課題等を上げてもらう）
39. 顧客様全員の方との再コンタクト
40. 個人の金融資産の充実と、無駄な出費を避け、固定費の削減を考えるようになった。
41. 危機の端緒を掴んだ段階で、速やかに処置しないと、各種資器材が入手できなくなること。アルコール消毒液、マスク、体温計といったコロナ対応資材は無いものは無いです。１ケ月待ちです。
42. 出勤、外出先から帰社したら、必ず除菌スプレーを使用する。事務所の換気を頻繁に行う。手洗い、うがいを行う。
43. ＢＣＰ整備の重要性

44. テレワークが広まったのは事業や業務の幅が広がりを持ったという意味では良かったが本来は機密にあたる情報を外部に持ち出すことに慣れてしまったことは否めない。
45. さまざまな行動におけるリスクアセスメントと管理策の徹底。新たなに、ＡＬＡＲＰに関する意識付けが向上
46. 固定費６か月分の内部留保を目指すことを推奨する
47. 急な出社停止に対応できるようにすること。ある程度の生活必需品を常備しておくこと。通信環境は見直すこと。
48. 情報に振り回されない。自然の流れに沿った生き方、生活を学んだ。
49. 社員の健康管理。
50. 試行錯誤してます
51. 自分を律する心の大切さをより一層、感じた。
52. この機会に健康経営取得を目指すのと、新規事業へのきっかけにして計画をしている。
53. 不必要な接触を避ける。消毒、手洗いの頻度を増やした。マスク、消毒液の備蓄を増やした。
54. リモート会議のセキュリティリスク。
55. 中コロの第２波第３波に備える。
56. 法人工作時の業界選択及び個人の家計コンサルの充実。
57. 初動対応の重要性の意識づけ備蓄　など
58. リスクに対する感度と正しい情報収集、フェイクニュースに惑わされない
59. 手洗い、マスク着用。自宅で食事。三密を避ける。出先でのこまめな指先の消毒。
60. 職場での書類・情報整理を徹底すべきと認識した

Q21.　その他、新型コロナウイルスに関してのご意見（自由回答）

1. 社会に漂う同調圧力や他者を排斥する風潮に危うさを感じる。公共の電波を使うテレビ局が流すコンテンツの品質劣化は目を覆うばかりだ。政府のもとに集う専門家集団には相当の偏向が認められ、その悪影響は甚大だ。今後の政治判断に注目したい。世界全体が憎しみや利己主義のウイルスに罹り、分裂や分断に向かわないようにするために何ができるのか、何をすべきなのか。一部で主張される「With コロナ」の時代が到来するだろう。生活様式以前に、自分も含めた個々の価値観の再構築が問われている。
2. 正しく対応でしたいが、マスコミなどが煽っている感じがする。こういう病気が流行ると、デマが多く出されますが、正しい情報を見極めることが必要だが、情報が多すぎて混乱を招いているように思う。
3. 全様不明なので様子見る以外ないですが　症状がない人まで気をつけないといけないとなるとそれが困ります
4. “安心感”があるということが何よりも必要であることから、一刻も早く適用される薬が待ち望まれる。
5. チャンス❗生き延びてやると、自分の気持ち固めは、確信出来た🎵やるのみ、生き延びるのみ。昔の人から、嫌がらせ来ても、切り捨てる‼
6. 医療の現場、教育の現場の両方を見ているが今まで変わろうろしていなかったものに変化があり少々気持ち悪さを感じている。

7. 法的根拠のない自粛要請に対する取組方は各々にあって然るべきだと思います、県外ナンバー車への嫌がらせやパチンコ屋へのバッシングなどは由々しき問題だと思います
8. 政府、自治体の対応が遅すぎる。
9. 中国の政治体制の恐怖があり、アメリカ、日本は早期の中国撤退。
10. 見えない、分からない(自覚症状や誰が感染しているか)からこそ、自分や家族を守るリスクマネジメントが大切であることを痛感。
11. 最前線で働く医療従事者への感謝
12. 保険会社に対して手数料体系がどの様に変わるのか早く方向性を示してもらえないかと思っています。
13. コロナによる罹患は、同じ要領なのに、なぜ、国によって、こんなにも態様が異なるのかが驚きです。
14. 企業により温度差が激しい。
15. 今回の新型コロナウィルス感染症について、リスクに対するエンドポイントが置かれている立場によって違うので、マスコミの報道も議論も政府の対策も噛み合っていないと感じております。
16. マスクは復活し始めているので、問題ないと思われる。あとは緊急事態宣言解除後、民衆の意識付けで通常の生活を送りながらどうコントロールしていけるかだと思う。リスクマネジメントのセオリーからは外れるが、日本国民はすぐ平和ボケしてしまうので、新しい生活様式も、多少はあっても良いのではないかと思う。
17. まさに戦争だと感じました。ただ、爆弾が空から落ちてこないだけ。不安との闘いには、自分の生き方をより一層明確にしないと病いになる。心の拠り所について深く考えました。
18. 第二波の脅威について、もう少し客観的で科学的な情報が欲しい。
19. コロナ後はしばらく元には戻らないという前提で仕事も私生活の設計しなおす必要があると感じている。あるいは大きくパラダイムシフトが起きるかもしれないのでその備えが必要かも
20. アフターコロナと軽く叫んでいる風潮に危機感を覚えます。それは政府と自治体が、どの様な状態（アウトカム）になったらアフターと言えるのかが冷静に示されないこともあります。集団免疫力指標で例えば国民の何パーセントが免疫抗体持てば良いのかとか同時にワクチン開発普及の時期が見えるまでとか、おそらく来年再来年も視野に入れたシナリオを示すべきです。アフターと言える時期はかなり先になるしそれまで企業存続できるのかとか、これまでの BCP の発想を転換したコロナ防衛型 BCP、BCM を提唱したいです。
21. 少し騒ぎ過ぎかと思う。
22. 阿部首相は本当にバカなことを改めて感じたこと。
23. 暗い話や不安感が多いので、前向きにマネジメントをしていきたい。
24. 今後、新たなウィルスや自然災害が発生した場合の会社としての対応や個人としての行動をどのようにして行けば良いか、考えなくてはならないと思います。
25. 一部が重篤化し、死に至ることもある一方、感染しても症状が出ない人がいるのが、一番の問題。今後も新しいタイプのパンデミックが起こったときに、対応できるか非常に疑問。
    'We're terrible animals. I think that the Earth's immune system is trying to get rid of us, as well it should.' Kurt Vonnegut
26. 騒がずに成り行きを見る。TV の意味のない専門家でない人のコメントがうるさすぎ。NHK をよく見るようになった。

27. ムダと分かったことはこれを機に改めたい。改めてほしい。
28. 最近、新たな感染者数がすくなくなったものの、マインドはネガティブになっており、消費が回復するにはまだ相当の時間を要すると感じられます。保険代理店でも、保険以外のキャッシュポイントを構築していくことが急務となっています。
29. 台風シーズンにおける避難所開設は、ほぼ絶望的です。体温計の非接触型、ダンボールの間仕切り、アルコール消毒液など、コロナ対応資材の在庫は、ありません。
30. 遅くとも関東のコロナ制限は６月には緩和されますが、世界規模での蔓延により第２波、第３波は避けられず、年内は経済活動および経済に及ぼす影響は避けられない事と２０２０年は南海トラフ大震災の発生リスクが高まるなかで、ビジネスと災害リスクをマネジメントすべき時だと考えています。
31. 密閉、密集、密接となるため、従来リスクマネジメントに必須だった対策事務局が組めず共有フォルダやファイルなどでの対応を余儀なくされた。また、感染症対応 BCP としては 2009～2010 の新型インフルエンザのガイドラインやマニュアルをベースとしていたが、感染力＞致死率で有名人が亡くなるまでは実感のない人が多かったこと、感染者を魔女のように扱う風潮があったこと、自宅待機の不安が大きかったことも特筆しておきたい。
32. ライフプランにも大きな影響を与える脅威と認識します。
33. マスクが届かない
34. 自然に感謝。地球を汚さない。一物全体、身土不二を考えた食事に気をつける。免疫力を上げるのではなく、自然食を身につけるとコロナ感染は怖くない。
35. 早く有効なワクチン若しくは治療薬を完成させてもらいたい。
36. 国のリスクマネージメントがひどいとわかった。海外ニュース、専門家が頼り。オリンピックは、やめてほしい。
37. ウイルスもですが自粛警察など、人による被害も怖い。経済的な問題も怖いです。
38. 人間も生物なんだなと実感し、ひとつひとつの出来事が感謝に値する価値があると再認識できるきっかけとなった。また、自然環境やこれからの企業としての向かい方の新しい指標が見えました。
39. 経営陣のリスクに対する意識の軽さが社員間で問題になったが、みんな経営層に対してものが言えず、ストレスが溜まっている。
40. 在宅勤務できる社員と出来ない社員の間に不平等感を生じないかの懸念。
41. アメリカ VS 中国によるので日本はどちらに着くのか決断が必要。
42. 緊急事態宣言は解除されたが、以前の様な日常にはならないような気がする。新たな日常にビジネスを適用させてゆかなければならないと考えている。
43. 必要な情報と、そうでない、直ぐにでも不要になる情報とが混在する。特に後者を良かれと、専門家にせよ、そうでないにせよ、配信する人が多すぎる。情報過多は、新たなリスクになると知るべき。特に、専門家でも分野外の人は、知ったかぶりで配信するので、素人より質が悪かった。貴協会も反問の余地があれば、PDCA 的に改善を。
44. 感染病の脅威を目の当たりにした初めての体験であり、世界経済にまで影響するとは思っていなかった。政府の対応も後手に回っていたり、医療水準は高いのに検査体制は、不十分であった。感染病リスクに対応できていなかった。それでも、マスクをする、手を洗う、3 蜜を避けるなど、日本人のまじめさが感染者・死亡者数が欧米諸国より少なかった要因なのかという気もする。正しく情報を把

握し、適切に恐れ、極度の不安に陥らないような心構えが必要と感じた。

45. WEB 会議など仕事のスタイルが変わりましたが、これを今後もうまく使っていきたい。緊急事態宣言解除と言っても安心できない。しばらくは様子を見ながら動くことになると思っている。
46. インフルエンザと比べて、少々大袈裟すぎる気もする
47. これから年末にかけて、企業の倒産や解雇者が増加したり、それらに関する訴訟が増えるのではないか、と予想している。